

令和2年度独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

映画上映会・講演会

この街で暮らす

道草

みちくす

監督 穴戸大裕

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。

日時

2020年11月28日(土)

開場：13:20 開演：13:30

13:30～15:05 映画「道草」上映会

15:10～15:50 岡部耕典氏（早稲田大学教授、出演者の父）講演

15:55～16:35 シンポジウム「地域で暮らす」

[シンポジスト] 岡部耕典氏

岩松国一氏（元三鷹市職員）

田尾有樹子（社会福祉法人巣立ち会理事長）

会場

三鷹市芸術文化センター 星のホール

*アルコール消毒等の感染症対策を行い、十分な空間のある会場で開催します。

入場料

1,000円（事前申込制）

*お申し込み方法は裏面をご確認ください

お問い合わせ・お申し込み：0422-34-2761（巣立ち会）

主催：



巣立ち会

後援：三鷹市

たったひとりの世界では、
自分は見えない。
道草をしながらふたりで
歩く散歩は、この世界とつな
がり、相手の瞳に自分を映し
出す時間。
こんな時間をすべての人が
持つことができれば、わたし
たちはもっともっと優しくな
れるだろう。

瀧瀬あや(映画監督)



はみ出していく。 よし、はみ出していこう。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わりなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。

ひとはさびし、ふたりで歩く。
雨は降る、陽は輝く。人は泣き笑う。



<知的障害者の暮らしとは？>

知的障害がある人の暮らしの場は広がってきていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。

2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー付きのひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。

そんな中、16年夏には相模原障害者殺傷事件が起きました。この街で誰もがともにあるために、新しい選択肢を見つめてみませんか？



2018年/95分/16:9/カラー/日本

監督・撮影・編集: 穴戸大裕 / 音楽: 末森樹 永原元 / 音響構成・整音: 米山靖 / 宣伝デザイン: 林よしえ / 宣伝イラスト: 木下ようすけ / 題字: 岡部亮佑

特別協力: 全国自立生活センター協議会 / 助成: 公益財団法人 キリン福祉財団 / 企画・製作: 映画「道草」製作委員会

お問合せ: 映画「道草」上映委員会 Tel: 080-3457-8833 FAX: 087-883-6570 info@michikusa-movie.com http://michikusa-movie.com/

【お申し込み方法】

お申し込みはお電話、FAX または下記のフォームにて受け付けております。

お電話でお申し込みの場合は、お名前、ご連絡先をお伝えください。

電話: 0422-34-2761 FAX: 0422-39-7781 (巢立ち会)

お申し込みフォーム: <https://bit.ly/340dAud>



【FAX お申し込み票】

- ①お名前: _____
- ②電話番号: _____
- ③ご所属(任意): _____